

南高図書館だより

2025 年 2 月号
浦和南高校図書館

図書委員のおすすめ本



『失はれる物語』

乙一／著 KADOKAWA(角川文庫)

この本の主人公の教師の男性は、ある日交通事故で全身不随のうえさらに音も視覚も五感の全てを奪われてしまった。唯一残ったのは右腕の皮膚感覚のみ、ピアニストだった妻はその腕を鍵盤に見立て、これからの日々の思い出を弾くように語っていった、それは果たして主人公の生きる希望となるのか…。

そのほかにも多くの短編小説があるので簡単に時間をかけずに読むことができます。短編 7 作収録！ ぜひ読んでみてください！

『大谷翔平を追いかけて - 番記者10年魂のノート -』

柳原直之／著 ワニブックス刊

今シーズンからロサンゼルス・ドジャースに移籍をした大谷翔平選手。2012 年秋のドラフト会議での指名から 2024 年の移籍(入団会見)まで、番記者の知る、大谷選手のすべてが全 479 ページのこの 1 冊にあります。野球や大谷選手が好きな人はもちろん、あまり詳しく知らなくてもとても楽しめるのでぜひ読んでみてください。



『麦本三歩の好きなもの』

住野よる／著 幻冬舎

『君の隣を食いたい』の著者である住野よるさんによる、主人公麦本三歩の日常を描いた作品です。

図書館で働いている三歩は、職場の怖い先輩と一緒にご飯やお菓子を食べるようになったり、停電した図書館に閉じ込められたり、超美人な友達と温泉旅行に行ったり、時には友人の命を救ったりしながら毎日を過ごしていきます。

毎日を頑張って生きる三歩から、自分も頑張ろうと元気をもらえます。一つ一つの話が短く読みやすいので、是非一度読んでみてください！

図書館からのお知らせ

埼玉県的高校図書館司書が選んだ イチオシ本 2024

「埼玉県的高校図書館司書が選んだイチオシ本2024」が2月14日(金)に発表されました。図書館でもイチオシ本を展示中。ベスト10に選ばれた書籍を、作家さん等のコメントが入ったPOPとともに展示しています。貸出中の本は予約もできます。



サイトも
見てね！

1 位	『本を読んだことがない32歳が はじめて本を読む』	かまど、 みくのしん	大和書房
2 位	『地雷グリコ』	青崎有吾	KADOKAWA
3 位	『spring』	恩田陸	筑摩書房
4 位	『成瀬は信じた道をいく』	宮島未奈	新潮社
5 位	『おしごとそうだんセンター』	ヨシタケシンスケ	集英社
6 位	『死んだ山田と教室』	金子玲介	講談社
7 位	『君はどう生きるか』	鴻上尚史	講談社
8 位	『中学生から知りたいパレスチナのこと』	岡真理、小山哲、 藤原辰史	ミシマ社
9 位	『けんごの小説紹介』	けんご	KADOKAWA
10 位	『夢も金もない高校生が 知ると得する進路ガイド』	石渡嶺司	星海社

蔵書点検(3/6, 7, 10, 11)のお知らせ

蔵書点検は、所蔵している本が行方不明になっていないか、所定の位置にあるかどうかを調べる、図書館の業務です。「蔵点(ぞうてん)」と略して呼ぶこともあります。実施することで、本は所定の場所に配架され、利用する人が見つけやすくなります。

蔵書点検期間中(3/6(木)、7(金)、10(月)、11(火))は、図書館は休館です。



知識の本

新聞のススメ 1日15分でつくる教養の土台

高井宏章／著 星海社(星海社新書)

元日経新聞の記者による楽しい新聞教室。新聞の定期購読をしたことのない若者2人との会話形式で、「まずは紙面をめくってながめるだけ」からはじめて、毎日、深く・鋭く読めるようになるまでのコツを伝授する。新聞は「読む」のではなく、「眺める」もの。毎日めくって眺めていると、これは大切なニュースだ、という勘が働くようになる。まずは図書館で新聞をめくってみては。

警察・スパイ組織解剖図鑑 映画・ドラマ・小説を楽しむための

加賀山卓朗／著 akira／著 松島由林／イラスト エクスナレッジ

映画やドラマなどのエンターテインメントで、警察組織や諜報機関はなくてはならない存在だ。色々な作品を見たり読んだりして、この刑事の階級はどのくらいの地位なのか、あのスパイの所属する諜報機関はどういう組織なのか、気になった人もいるはず。日本や英米の諜報機関だけでなく、最近エンタメでの世界進出著しい韓国まで網羅して、海外ミステリ翻訳家が解説する。

本当に危ない闇バイトの話 あの時こうしなければ…

廣末登／監修 芳賀恒人／監修 金の星社

闇バイトの罠に引っかからないために、様々な事例を知って、罠に気づく力をつける本。実際にあった事件を基に、闇組織(犯行グループ)の実態と手口をマンガでわかりやすく伝えてくれる。取り上げる犯罪は、特殊詐欺・違法売買・違法マルチ商法など。さらに、闇バイトに手を出さないようにするための方法や、犯罪に巻き込まれそうになったときのための相談先も載っています。

透析を止めた日

堀川恵子／著 講談社

透析とは、腎臓の機能が著しく低下したり廃絶した患者の体から、過剰な水分や毒素などの老廃物を取り除いて、血液を浄化する治療だ。(中略)腎臓移植をしない限り、透析は一生続く。透析を止めてしまえば、数日から数週間で死に至る。これが恐怖でなくて何であろう。(P2)

なぜ、透析患者は「安らかな死」を迎えることができないのか？ どうして、がん患者以外は「緩和ケア」さえ受けられないのか？ 透析患者の終末期に生じる問題について、患者の家族の立場から国の医療政策に一石を投じる。

日本髪を描き方

撫子凜／著 ポーラ文化研究所／監修 エクスナレッジ

安土桃山時代から現代に至る、約80種類の髪型の結び方や描き方のコツ、時代背景とそれに合う着こなしなどを詳しく紹介。女性だけでなく男性や子どもの髪型、装身具や化粧道具についても解説する。描く人にはトレース可能な素材もあり、歴史好きには未婚・既婚の髪型ルール、江戸と上方の細部の違い(江戸時代後期)や横兵庫の変遷など、豆知識のコラムも充実。

やさしい日本語ってなんだろう

岩田一成／著 筑摩書房(ちくまプリマー新書)

「やさしい日本語」は、相手に合わせてわかりやすく伝える日本語のこと。外国人を主な対象としているが、高齢者など多くの人にも対応できる。筆者はこれを「言葉のユニバーサルデザイン(P31)」だとする。「やさしい日本語」を通して、相手に伝わる言語とは何なのか、考える一冊。

小説・文学

カラフル

阿部曉子／著 集英社

高校入学式の朝、駅のホームでひったくり犯を捕まえた荒谷伊澄は、犯人を足止めしようとした車いすユーザーの少女、渡辺六花と出会う。初対面で喧嘩腰になった二人は、なんと同じ高校の新入生(しかも同じクラス!)だった。ある日、1泊2日で40kmを踏破する学校行事「青嵐強歩」へ、六花が見学ではなく参加すると言ったことで、伊澄の心とクラス内に波紋が広がっていく。人と出会って世界がカラフルになる。読むと未来が楽しみになる、ボーイミーツガールの物語。

謎の香りはパン屋から

土屋うさぎ／著 宝島社

大学生の小春はパン屋でアルバイトをしている。ある日、親友の由貴子にライブビューイングをドタキャンされてしまう。誘ってきたのは由貴子なのに、なぜ？ 小春は由貴子の行動を振り返り、ある真相にたどり着く…(「焦げたクロワッサン」)。大阪のパン屋で起こる日常の謎を、漫画家志望の大学生が解決していく短編集。第23回「このミステリーがすごい」大賞受賞。

けんごの小説紹介 読書の沼に引きずり込む88冊

けんご／著 KADOKAWA

「埼玉県の高校図書館司書が選んだイチオシ本2024」第9位！ 小説紹介クリエイターけんごが幅広いジャンルの小説を紹介。一冊ずつの紹介文が短くて読みやすいだけでなく、それぞれの紹介文が魅力的。ストーリーラインを知っていても、つい読みたくなってしまいます。動画で著者を知っている人も知らない人も、次に読む本に迷ったら読んでみて。新たな物語と出会えます。

図書委員が書店で選んだ本、入りました!!

図書委員が選んだおすすめ本が、新しく入った本コーナーに並びました。全て借りることができます。南高生におすすめ!!

